

平成19年度 泉区社会福祉協議会事業計画

基本方針 みんなでつくろう 福祉の泉

泉区社会福祉協議会(以下『区社協』)は、「誰もが安心して暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」ことを目的として、昨年3月「地域福祉活動支援計画」を策定し、事業の指針としました。

そして、この指針に基づき「地区社会福祉協議会」(以下『地区社協』)を地域福祉活動の中心的団体として18年度事業を展開してきました。またこれに加え区社協としても「組織機能強化」を図るため理事会・評議員会の再編と部会・分科会の設置、地区社協部会の定例会の開催、賛助会費配分率の変更等による「地区社協」財源強化施策等を行ってきました。

今年度は、「地域福祉活動支援計画」の2年目であり、初年度の成果を引継ぎ、一層「地区社協」を中核とする本会部会員の地域ネットワークを強化し、区役所等関係機関とも連携し高齢者・障がい者・子育て等、多岐にわたるニーズに、より一層対応できる活動を目指します。

1. みんなで知ろう!! 助けあい・支えあいのまち泉

地域では、少子・高齢化の進行に伴い高齢者や子育てに係る課題・障がい者に係る課題等、多くの課題が山積しています。こうした課題を解決するためには、地域のみんなが力を合わせ助け合うしくみや次世代の福祉を担う青少年の育成が重要です。このような理念・視点に立ち、活動上必要なスキル(技術・特技)を身につけた「ボランティア」と「ボランティアグループ」の育成やそのための基礎となる福祉教育の推進を図ります。

1

新規・重点事業

災害ネットワークの設置

泉区役所及び地域の福祉団体、施設と連携し「災害ネットワーク」を設置すると共に、災害ボランティア講習会の開催により、災害時実務的に活動できるボランティアの育成を図ります。

高齢者サロン等の充実

区内の高齢者の食事会等「サロン活動」で活動するボランティアを育成するための研修を開催し、現在活動するボランティアのプログラム・レクリエーション運営のための技術向上を図ります。また団塊世代への取り組みを強め、サロンに協力する男性ボランティアの発掘を図ります。

送迎ボランティアの拡充

「送迎ネットワーク」を組織すると共に、送迎ボランティアへの地域理解を進めるための講演会を実施します。

継続・重点事業

ボランティアの普及啓発

区社協機関紙・ホームページ及び地区社協や関係団体の情報紙やネットワークを通じ、ボランティアの理念や意識の普及啓発を行います。またあわせて、ボランティアの発掘と育成を図ります。

ボランティア講座の開催

ボランティアの育成強化を図るためボランティアグループ福祉関係団体と連携し、講習会・講座を実施します。

地区社協が主体のボランティアの拡充

地区社協が主体となって(区社協との共催等により地域で開催)ボランティア講座を実施し、地域課題解決のためのボランティア育成を図ります。

継続・重点事業

地域住民への福祉教育の啓発と推進

地区社協や福祉団体と連携し、地域住民を対象に福祉を考える会等を開催し、地域住民への福祉教育を進めます。また地域で活動する福祉教育サポーターのための養成研修を開催します。

その他区社協や高齢者食事グループ及び福祉教育サポーターと協力し、地区社協エリアにおける福祉教育機能の一層の向上を図ります。

児童生徒への福祉教育の推進と機能の充実

「サマースクール」・「いずみウインタースクール」や「スプリングスクール」を継続して開催し児童・生徒の福祉啓発の機会とし、また「福祉体験学習」等福祉教育活動の支援を行います。

継続・重点事業

福祉情報の充実と発信

パソネット泉と協働した区社協ホームページの充実や、地区社協や福祉団体と連携する中で、情報収集機能の強化を図るとともに福祉情報発信機能を高めます。

福祉保健活動拠点の充実

窓口満足度調査や、本会ホームページ上に開設した「ご意見メール」等に寄せられた利用者の意見や声を生かした運営を心掛けると共に、ていねいで親切な窓口対応等、拠点サービスの一層の向上を図ります。

2. みんなで作ろう！！「支えあいのまち、泉」の仕組みを作る

「ボランティア活動」や「支えあい」の活動が、より広範に効果的かつ継続的に展開されるためには、これらの活動を支援する、区域及び地区社協エリアにおける組織やネットワークの役割が重要です。地域福祉活動の中心的団体である地区社協と協働して、各地域での福祉活動の拡大とネットワーク化を図ります。また区域では区内全域に係わる課題として「災害」「送迎」等があり、それぞれに対応したネットワーク化を図ります。その他、在宅福祉活動や子育て支援活動の重要な担い手・キーマンとなっている「民生児童委員」との連携も強めていきます。

継続・重点事業

地区社協との連携強化

18年度に引き続き月例の地区社協会長会・事務局長会を通じて課題の把握や解決の方策を検討する中で、地域福祉を推進します。

活動費と活動への支援

活動運営費・育成費助成、賛助会費の1/2還元を通じた資金面の支援や研修・講演会を通じた活動内容への支援を行い、活動の活性化を一層図ります。

地区社協の知名度アップと活動の担い手の発掘

区社協ホームページや機関紙を利用して地区社協の知名度アップを図ります。また出張講座や、区社協・地区社協の共催講習会を通じ、地域における「地域福祉活動理解」の一層の向上や新規ボランティアの発掘・育成を図ります。

新規・重点事業

障がい者関係

泉区役所とすすめる「災害ネットワーク」を設置するとともに、IH ネットと連携する中で、災害弱者といわれる障がい者や高齢者の現状や課題に対応した、災害ボランティアの育成を図ります。（再掲）又「送迎ネットワーク」を組織すると共に、送迎ボランティアへの地域理解を進めるための講演会を実施する中で、障がい者が「安全で安心して生活できる」送迎活動の検討や事業展開を図ります。（再掲）

高齢者関係

区内の高齢者の配食会等「サロン活動」で活動するボランティアの発掘と育成を図り一人暮らし高齢者等が、安心して暮らせる地域作りを進めます。
「送迎ネットワーク」を組織するとともに「送迎ボランティア」講演会を実施します。（再掲）

子育て支援・地域見守り関係

「不登校・たまり場」講演会を通じ、地域のフリースペースへの理解を促進します。
「布のおもちゃ講座」や「おもちゃ病院ボランティア講座」を開催し、本会が受託運営する「子育てサポートシステム」とともに地域の「子育て支援」機能を活性化させていきます。（再掲）
「地域子育て環境・見守り講演会」の開催により、子ども達が育ちやすい地域環境と大人の役割についての区民啓発を行います。

継続・重点事業

低所得者等援護関係

生活福祉資金貸付等を通じて、低所得世帯の自立更生を図ります。また地域での福祉の重要な担い手である民生委員児童委員との連携して、地域の福祉課題に取り組みます。

3．組織機能強化・定例会議の開催等

「区社協の機能強化」を図るため、理事・評議員会組織の再編を行うとともに部会・分科会を設置します。

継続・重点事業

役員等の選出

18年度に改正した規程に基づき理事・評議員等を選出し、新体制を確立します。また部会・分科会を通じ、より地域課題の解決を図ることのできる区社協の実現を図ります。

会員の拡充と財源の強化

会員未加入の福祉施設・団体等に会員加入を継続的に呼びかける等、会員数の増加を図ることにより、本会の推進力とネットワークを一層強め、あわせて財源の強化も図ります。

拠点機能強化

窓口満足度調査・苦情解決のしくみに関するPR活動や情報公開、個人情報保護への取り組みを進め、地域に一層信頼される区社協をつくります。

(詳細)

平成19年度 泉区社会福祉協議会事業計画

1. みんなで知ろう!! 助けあい・支えあいのまち泉

/'地域を支えるボランティアをつくる・福祉教育をすすめる'

福祉に関する理念や知識そして技術を知る事、学ぶこと、その機会を区域や12地区社協エリアで充実させることで、「ボランティア」の発掘や「ボランティア活動」の充実に図ります。

(1)【ボランティア育成事業】

(予算・単位)

災害ボランティア講習会(新規・重点事業)(9月開催予定)

泉区役所とすすめる、「災害ネットワーク」組織とともに、災害時には、地域と連携し、活動するボランティアの育成を図ります。

ホームページ作成ボランティア講座(7月開催予定)

地区社協や本会部会員が区社協ホームページとリンクし、独自のホームページを立ち上げ、定期的に更新し、主体的な情報発信が可能となることを目的とした「ホームページ」作成のためのボランティア講習会を開催します。

協力 ボランティアグループパソネット泉

布おもちゃボランティア講座(新規・重点事業)(9月開催予定)

子育てサロンだけでなく、高齢者にとっても「介護予防効果」が期待され、全国的にも、20年以上の実績がある「布のおもちゃ」ボランティア発掘・育成のための講座を開催します。また、下記の「おもちゃ病院ボランティア」活動等とも連動させ、主として、本会が受託・運営する「子育てサポートシステム」とともに本会の「子育て支援」活動全般を活性化させていきます。

おもちゃ病院ボランティア講座(新規・重点事業)(11月開催予定)

「泉区ふれあいホーム」を拠点として毎月開催し、故障したさまざまな玩具を原則として無料で修理する「おもちゃ病院」(本拠点ではボランティアグループ『ドクトルベアーズ』による)の活動が、区域だけでなく、地域福祉活動の活性化の中で、新橋地区での展開が予定されています。これら「地域支えあい」だけでなく、限りある資源を大切に活用する「リサイクル」活動の理念も併せ持つ「おもちゃ病院」活動で主体的に活動するボランティアの発掘・育成のための講座を開催します。

読み聞かせ応用講座(4月開催予定)

ビデオ、ゲーム、携帯電話の普及により、子ども達の絵本離れ、親子のコミュニケーション不足が深刻化する中、幼児への肉声による絵本や童話等の読み聞かせの機会が、ますます重要視されています。18年度開催の講座卒業生のフォローアップのための標記講座を開催します。

傾聴講演会・講座(継続・重点事業)(講演会4月・講座5月開催予定)

一人暮らし高齢者等、閉じこもりによるコミュニケーションの不足は、「認知症」(老人性痴呆症)にも大きく影響すると言われていています。相手の言うことを、「あるがまま」に受け止めることのできる「傾聴ボランティア」発掘と活動の地域理解促進のための「講座」と「講演会」を開催します。

地区社協(出張・共催)ボランティア講座(継続・重点事業)

(通年、4講座開催予定)

地区社協事業で活動するボランティアの発掘と組織のため、地区社協エリアに出張する等して区社協と共催した各種ボランティア講座を開催します。

ボランティア情報誌発行（継続・重点事業）

区民へのボランティア啓発と、新規ボランティアの発掘のための、「キラばら泉」の発行を年3回、登録ボランティアへの活動フォローアップのための「別冊ボランティアセンター通信」を年2回発行します。

高齢・子育てサロン（ボランティア）活動者研修（11月開催予定）

18年度に実施した「地域サロン・たまり場アンケート」結果に基づき、地域で活動している「高齢者サロン」や「子育てサロン」ボランティアを対象として、その運営やプログラム充実のためのスキルアップ研修を開催します。

送迎サービス研修会・講演会（新規・重点事業）

（研修会9月・講演会3月開催予定）

本会の「移送・外出事業」を担うボランティア等のスキルアップのための研修会と、区域における「送迎ボランティア」活動の理解促進のための講演会を開催します。

ボランティア交流会（3月開催予定）

ボランティア連絡会と共催し、区域のグループおよび施設、個人ボランティア、また地区社協を拠点に活動するボランティアの「活動交流と活性化及び親睦」を目的として、開催します。

ボランティア担当者研修交流（12月開催予定）

区内の高齢・障がい施設や、地区社協のボランティアコーディネーター（発掘育成・登録・調整）機能の一層の充実のため、各施設・団体の担当者、担当役員等を対象として開催します。

ボランティア登録・調整（泉区ボランティアセンター）事業（委託事業・通年）

コーディネーターを配置し、区域のボランティア活動の登録・調整を通じ、活動の一層の活性化と振興を図ります。またボランティアセンターの環境や備品・消耗品等を整備します。

ボランティア活動に必要な機材の貸出

車椅子・高齢者擬似体験セット・点字器等の福祉機器等、ボランティア活動等に必要な機材の貸し出しを行います。

ボランティアセンター運営委員会（年3回開催予定）

ボランティア事業の適正な運営を図るため、また活動の活性化と振興を図り、区善意銀行等、ボランティア活動関係の助成を審査するため、「運営員会」を開催します。

地域活動への助成（7・12月助成）

福祉の泉助成金によって地域活動への助成、地域の福祉活動や当事者活動に助成します。

(2)

福祉教育サポーター養成研修（新規・重点事業）・福祉教育ボランティア派遣（研修6月開催予定・派遣、通年）

小・中・高等学校等で行われる、福祉教育活動の支援や相談を行う「福祉教育サポーター」を発掘し育成するための、養成講座・同定例会（隔月）を開催します。

また、福祉教育サポーターの他、手話・誘導法・車椅子操作等、福祉を理解するための「きっかけ」となる技術をもったボランティアを「福祉教育」の理解促進のため派遣します。

教師を対象とした福祉講座（8月開催予定）

泉・旭・保土ヶ谷・瀬谷の4区社協及び市教育委員会と協力し、学校で福祉教育を担う担当教師等を対象とした「福祉講座」を開催します。

いずみサマースクール（7月～8月開催予定）

小・中学校等、義務教育期間中の児童・生徒の「福祉啓発・教育」機会として、区内の福祉施設やボランティアグループ・地区社協等の協力を得て開催します。

いずみウインター・スプリングスクール(各12月・3月開催予定)

小・中学校等、義務教育期間中の児童・生徒の「福祉啓発・教育」機会として、福祉教育サポーターの協力により、ワークショップスタイル(座学でない活動参加型講座)により開催します。

各種福祉啓発・福祉教育啓発事業への後援、支援等(通年)

学校や地域、福祉関係団体等が協力して開催している「福祉啓発」や「福祉教育」イベントを後援し、また「福祉の泉助成金」等の活用により支援します。(18年度実績『第16回サマーチャリティコンサート』・『第19回泉区子会書道展』等)

(3)

福祉保健活動拠点窓口相談機能充実・強化(継続・重点事業)

(通年、窓口満足度調査11～12

月予定)

拠点に設置している「お客様の声」(意見箱)やホームページ上に開設する「ご意見メール」、第4回目となる「窓口満足度調査」の結果を有効に活用し、拠点の相談機能や情報発信機能の向上を図り、誰にとっても分かりやすく理解できる窓口改善を図っていきます。

区社協ホームページ更新と充実(継続・重点事業)(通年)

本会の区民PR及び日常的・継続的な「福祉情報発信」の機能として、本会会員や区内福祉関係団体が連携することで、「ホームページ」の一層の充実を図ります。

区社協広報紙発行(継続・重点事業)(通年)

「区社協だより 泉」を年3回発行し、全区民に対する福祉情報の発信と本会の区民PR活動を徹底して行います。また「編集委員会」を開催し、内容が区民にとってより身近なものとなるよう図ります。

区社協リーフレットの発行

18年度の「組織機能強化」による組織改正に合わせ、「区社協事業や活動への理解促進」を図るための、PR用リーフレットを作成します。

第21回泉区福祉大会の開催(2月開催予定)

泉区役所及び共同募金会泉区支会との共催、日赤泉区地区委員会の後援とボランティア連絡会と協力し、「区域に活動するボランティア個人・グループ等の顕彰」のため、また区民への福祉啓発と「福祉関係施設・団体の活動の場」として、また参加型福祉大会として開催します。

2. みんなで作ろう!!「支えあいのまち、いずみ」のしくみを作る

地域福祉活動やネットワークを推進する中心的団体である地区社協に対し、地域住民自身が地域課題を意識し、解決のための「しくみ」づくりを進めていくための支援を行います。また高齢者、障がい者・子育て等の当事者活動を支援するとともに、送迎問題等解決が困難な課題の整理と方向性を、区役所との協力により探っていきます。

(1)

地区社協活動支援(活動運営費・育成費)(継続・重点事業)(通年)

(5月助成予定)

地区社協の重要な活動財源となっている活動運営費51,000円・育成活動費100,000円を、申請により助成します。また、この申請内容や18年度活動実績等により、地区社協情報を整理した「地区カルテ」を作成します。

賛助会費助成(継続・重点事業)

(7月～募集、助成、概ね11月～)

連合町内会・地区社協の協力により募集した「賛助会費」の1/2を地区社協に還元し、これを財源として、各地区社協毎に特色のある活動が展開できるよう支援します。19年度実績により変動します。

地区社協人材研修・講座(継続・重点事業)

(講座、通年 講習会10月開催予定)

各地区でボランティア等活動の担い手の発掘、確保、育成を目的として、4地区での出張講座を実施します。(再掲)、また地区社協役員等、関係者の地域福祉理解の一層の向上や、地区社協組織運営に関わる身近な疑問・課題を解決するための講習会を開催します。

地区社協拠点整備(福祉の泉助成金による備品整備6・10月助成予定・情報ボックス設置支援、通年)

「拠点確保が困難であること等の理由により、地域で見えにくい」と言われる地区社協の認知度の一層の向上のため、申請により「地区社協情報ボックス」設置を行う等の支援を継続して行います。

地区社協の地元商店街や町内会館・コンビニエンスストア等に設置し、区社協の広報紙やイベントチラシを定期的に入れ替えることで、地区社協の地域密着度と認知度を向上しようと、本会「地域活動支援計画」に計画されているもの

広報支援(通年)・地区社協定例役員会開催

(会長会・事務局長会 10回)

本会発行の「区社協だより 泉」や「ホームページ」に、各地区社協の活動事例の紹介や前記「情報ボックス設置」により、多面的に「地区社協」認知度の向上を図ります。また地区社協会長会等の定例開催にあわせ、区社協情報や区内団体、施設会員等のイベント・福祉、ボランティア情報を提供し、地区社協広報紙の、充実した紙面づくりの一助とします。

食事サービス事業支援(新規・重点事業)

(共有レシピ作成2月予定・料理勉強会9月開催予定)

泉区食事サービスグループ連絡等への支援を通じ、各地区社協の一人暮らし高齢者や高齢者世帯への見守り機能を強化します。また特に19年度はグループ相互に「高齢者に喜ばれ、健康にも良い」メニューレシピ作成や、料理研修会開催への支援を行います。また、前出18年度「地域サロン・たまり場アンケート」結果で、食事会の多くがレクリエーションプログラム進行や高齢者の話し相手として「団塊世代」を、新たなボランティアの担い手として期待していることを踏まえ、講習会等必要とされる支援を実施します。

(2)【高齢者関係】

外出支援・移送サービス事業(継続・重点事業)(委託事業・通年)

概ね65歳以上で、介護保険または難病の認定を受けており、公共交通機関等の利用が困難な方の、車による送迎を実施します。(外出支援サービス)また、このサービスに該当しない障がい者等を対象とした、「移送サービス」を実施します。

送迎ネットワーク事業(新規・重点事業)

(講演会7月・ネットワーク立ち上げ8月予定)

地域の福祉施設や作業所、当事者団体、泉区役所と協力しながら、泉区におけるボランティア・NPO送迎支援組織としての「送迎ネットワーク」を立ち上げます。また、ネットワークやボランティア・NPO送迎への理解促進のための「講演会」を開催します。

高齢者サロン(ボランティア)活動者研修(再掲)

食事サービス事業支援(再掲)

あんしんセンター(権利擁護)事業(委託事業・通年)

金銭や大切な書類の管理に不安のある高齢者や障がい者の財産や権利を守り、

安心して生活できるための相談や金銭管理サービス等の支援を行います。

訪問理美容サービス事業(通年)

在宅要介護者などに対する理・美容師による出張サービス事業を行います。

敬老月間行事(9月中旬実施予定)

区内で、新たに100歳になった高齢者を訪問し、記念品の贈呈をします。

(3)【障がい者関係】

外出支援・移送サービス事業(再掲) (委託事業・通年)

送迎ネットワーク事業(再掲)

(講演会7月・ネットワーク立ち上げ8月予定)

知的障害者ホームフレンド事業(年10回開催)

障がい児者をもつ家族のレスパイト及び本人の外出機会の拡大のため開催します。

学齢障害児余暇支援ジュニアフレンド事業(7月～8月)

学齢障がい児の長期休暇中の家族のレスパイト及び本人の社会参加の拡大のため開催します。また参加ボランティアにあっては、活動を通して「障がい」に関する啓発と、理解促進を図ることを目的とします。

「障がい」啓発第2回アロハフェスティバル事業(9月開催)

区民に対して「障がい」に関する啓発と、理解促進のためのイベントとして、昨年度に引き続き開催します。

第16回ふれあいざいずみ軽スポーツ大会(6月開催予定)

青少年の「障がい者」との交流を通じた「啓発・理解促進」事業として開催します。

「区社協だより 泉」「キラぼら泉」(再掲)の障がい施設利用者による全戸配布標記、本会発行物を、障がい者の社会参加の一つとして位置付け、作業所との契約により全戸配布します。

障害者地域作業所等設置(つなぎ)資金の貸付)

(4)【子育て支援・地域見守り関係】

子育てサポートシステム事業(委託事業・通年)

地域の中で子どもの預け、預かりあう関係と信頼性を築くことで、区民相互の支えあいシステムの、一層の機能充実を図ります。

「ちょこっといずみ」サポート(毎月参加)

泉区子育て支援スペース「ちょこっといずみ」の定例会に参加し、区社協から情報提供を図るとともに、「子育て支援」に関する情報を交流を行う中で、区内で「子育て」がし易い環境を整えるための支援を行います。

フリースペース い・ず・み(不登校児たまり場)サポート

(講演会新規・重点事業)(毎月参加・講演会6月開催予定)

フリースペース い・ず・みの定例会に参加することで、区社協から必要な情報を提供するとともに、「不登校」の問題を通して、子ども達が育ちやすい環境を整えるためのサポートを行います。また19年度は、「不登校の問題」に関する区民理解促進のための講演会(新規事業)を開催します。

いずみ多文化ネットワークサポート(毎月参加)

いずみ多文化ネットワーク(いちよう団地で開催)にオブザーバー参加し、「多文化共生」の理念が理解される「地域づくり」へのサポートを行います。

地域子育て環境、見守り講演会(新規・重点事業)(3月開催)

地域において、安心して子育てができ、どうしたら子ども達が豊かな心を持つことのできる環境を整えていくことができるのか、関係者や関係団体の協力を得て、区民とともにそのあり方について検討します。

(5)【災害関係】

泉区災害ボランティア連絡会(仮称)立ち上げ(再掲)(新規・重点事業)
(6月立ち上げ予定)

災害時に实际的に機能する「災害ネットワーク」を構築するため、泉区役所と協力し、地域防災拠点や自治会関係者を交えた標記連絡会を立ち上げます。

災害ボランティア講習会(再掲)(新規・重点事業)(7月開催予定)

実際の災害を想定し、地域防災拠点と災害ボランティアがどう連携し活動するのかをまとめた「泉区災害ボランティアマニュアル」(仮称)を、区役所と協力して作成します。

この普及と、地域理解促進及び災害ボランティアコーディネーター育成のための研修会を開催します。

(6)【低所得者等援護関係】

生活福祉資金貸付 継続・重点事業)

低所得、身体障がい者等要援護世帯への生活福祉資金貸付
県社協直接執行(17年実績37112)

低所得者援護事業
行路病人へ等への交通費の支給

小災害緊急援護事業

火災等の被害を受けた罹災者への、見舞金支給
(主として日赤で対応)

泉区民生委員児童委員協議会活動費助成
活動費の一部を助成します。

3. 定例会議の開催・組織機能強化等

18年度に再編した部会・分科会を活用して、会員の横断的議論を一層活発にし、19年度事業計画で重点となっている送迎・災害等の課題を整理するとともに、地域での活動が広範かつ効果的に進められるよう図ります。またこうした経過で議論されたテーマを必要に応じ、ボランティアセンター運営委員会等の専門委員会で検討する中で、理事会・評議員会でより深まりのある議論ができるよう工夫します。

また、引き続き会員の拡充、賛助会員の募集拡大や善意銀行の理解促進を進め、本会組織及び財源の安定化と機能強化を図ります。

更に、引き続きインターネットバンキングの活用による効果的で効率的な経理を進めるとともに、予算・決算等の経理情報をホームページ上にアップし、一層の区民理解を進めます。

(1)【定例会議】

理事会・評議員会・監事会 の開催(5・9・1・3月開催予定
監事会5月)

部会・分科会・各種委員会の開催(随時開催)
但し、ボランティアセンター運営委員会は7・12・3月開催予定)

(2)【組織機能強化等】

情報公開・個人情報保護制度に関するPRと運用(通年)

苦情解決のしくみに関するPRと運用(通年)

窓口満足度調査(再掲)

賛助会費・善意銀行のPRと募集(再掲)

インターネットバンキングの活用(通年)

福祉関係7団体の事務局運営と団体の自主化の促進支援(通年)

県共同募金会、赤十字社泉区地区委員会、県更生保護協会泉区支部、社会を明るくする泉区運動実行委員会、泉保護司会、泉区更生保護女性会、遺族会の各事務局運営を担うとともに、団体の自主化促進等、必要な支援を行います。

4. 法人運営・拠点整備等

法人組織として、拠点を維持・管理するための予算です。

(1)【法人運営費】

拠点運営経費/修繕費・通信運搬費・事務所コピー・財務関係システム等

(2)【拠点維持・非常勤人件費】

水道光熱費、業務委託費、拠点修繕費、拠点窓口・外出支援・子育てサポート非常勤職員給与・法定福利費等